

先輩たちの行先は？ 《過去3年の進路概況》

過去3年の傾向をおもな数字で見てください。進学者は実数。(大学名)はのべ合格数です。

	R4/3月卒業生	R5/3月卒業生	R6/3月卒業生
国公立大進学者	79	92	103
(旧帝大&筑波)	9	3	7
(福島大)	17	12	13
(新潟大)	10	19	22
(山形大)	8	6	5
(茨城大)	1	2	4
(宇都宮大)	1	6	4
(埼玉千葉横国大)	3	3	5
(県医大医)	0	2	2
(県医大看・保)	5	5	5
(会津大)	2	3	3
私立大進学者	107	105	106
(早慶上理)	9	9	9
(GMARCH)	27	16	31
(日東駒専)	31	40	55
(東北学院)	22	16	21
	(6クラス)	(6クラス)	(6クラス)

※大学別・学部別等の詳細は、進学資料「学への決意」を参照のこと

- * () に示した国公立大や難関私大は、多くの先輩たちが目指してきた主な志望先。
- * レベルの違いはありますが、志望実現の近道は、絶対的基礎力を身につけることです。



進路選択と【参考値としての数字】

★学年6クラスが定着。数字的に見れば、今春の卒業生は国公立大全般、さらに私大の上位レベルで大健闘。文系を中心によくがんばったと評価できるだろう。——ただ、入試も進路選択も数字やレベルだけで測れるものじゃない。都市部と首都圏の格差がますます拡大しているなかで、進路選択のために大切なことは何か、数字はあくまで参考に、広い視野で冷静な分析をしよう。

回復した日常の中で…不安定な将来に備え【今に全力で取り組む】強さ

- 共通テスト4年目だった今年。当初の混とんとした状況まではいかずとも、共通テストは上位と下位の間に溝ができつつある。「総合選抜型・学校推薦型」に名称を変えた推薦A0入試で青田買いしようとする大学が多数。「情報」の扱い、科目名の変更など、来年以降の入試も、この先いつどこに着地するのかまだまだ不透明だ。超少子化に右往左往するこの世の情勢では、どんな予定も計画も確実性が低い。そんな中、受験生のみんなは先の見えない不安とも戦っていかなければならない。
- が、しかあ〜し！ある程度見通しが立って、いざ出陣！となった時、何の準備もできていない、ゼロ、いやマイナスからのスタートとなってしまえば、残るのは悔いだけ。世の中には紛争などさらなる悪条件のもとで不安を増大させている人たちがいることと思えば、わがままは言っていられない。全国の、世界の人々の平和と健康を願いながら、自分のできることに最大限の努力を惜しまず取り組むことが、会高生として国民として、そして地球人としての使命。さまざまな可能性を信じ、今に全力で取り組み、未来を切り開いていくのだ！

高校生活は授業ばかりじゃない！

「社会人としての資質」を高めるために・・・ ～本来もっと語りたい特別活動のススメ～



「普通活動」たるべき「特別活動」に力を!!

もう5月も半ば。1年生は高校生活のリズムを築くことができているでしょうか？まあ、最初の定期考査が終わらないと軌道に乗らないのが高校生活の常。しっかり準備して、来月の前期中間考査に臨みましょう！

毎年ここで取り上げるのは「特別活動」。1年生にとって、高校での部活動は入学前からの楽しみやあこがれだった人もいるはず。2・3年生は、後輩が入ってきて何かと気合いが入るところ。勝利を目指して燃える運動部、心一つにいろんなものを築き上げる文化部。何かに熱中したり、ボランティア活動したり。生徒会活動・行事で協力し合っても達成感や成就感を得ることができるよね。ホームルームも強歩大会・マラソン大会も修学旅行も、み～んなみんな「特別活動」。



楽しむ一方、悩むこともしかり・・・



上下関係で悩む。チームワークに悩む。目標設定に悩む。勉強との両立に悩む。時間の管理に悩む。才能に悩む。仲間の力不足に悩む。結果が出ないことに悩む。金銭的に悩む。健康面で悩む。

悩んで悩んで、もがきながら壁を崩して乗り越えて・・・新たな友が見つかって、自分の弱さに気がついて、自分の長所を見いだして、周囲の支援に感謝して・・・それでも思った通りにいくことは少なく・・・

それでいい。だって、これって社会に出れば当たり前のことだもの。精神的に落ち込んだり、前を向いたり、病気になったり、元気になったり、お金があつたりなかったり・・・そもそも「悩む」にはエネルギーが必要。トシをとると、エネルギーがなくなって「悩む」ことすらできなくなる。「悩む」ことができるのは若さの象徴なんだよ、みんな！

～やがて、組織の仲間、上司、部下、取引相手、お客さん、生徒、患者、時には商売敵と。戦ったり、協力したり、いがみ合ったり、打ち解けたり・・・豊かなコミュニケーションをとりながら、社会の一員として生きていく。そのための訓練と思えばいい。と言うより、「特別活動」ってホントは「普通活動」。だから、どんなささいな活動でも、進路選択やその実現に大きな役割を果たすんだよ。

運動部でも文化部でも生徒会でも、やる以上は目的を明確にしてがんばろう!!!

～「進路だより」第1号より～

適切な進路選択のために実践して欲しいこと ①年生！

将来、「世界の平和」と「人類の幸福」に貢献できる社会人になることを最終目標に、高校生活に慣れ、まずは「**自分を知ること**」「**仕組みを知ること**」に努めてください。

- 教科の学習を通して自分の学力や適性を知る。文系・理系選択がすぐに待っています。
- HR活動・部(委員会)活動・生徒会活動・学校行事を通して、**自分の性格や特性を知る**。
- 日常の活動やHR、メディアを通じて、**社会の仕組みや問題**を知る。
- HRや面談、進路資料、総合・探究活動などを通して、**職業、大学や学部・学科、入試制度**について知る。

これは**②年生!**にも**③年生!**にもあてはまる。これから先も納得できるまで、一生繰り返し。

「普通活動」を有効活用して、自分をよく知り、心を磨き上げるのだ!

③年生は特にしっかり、主体的に!：直接体験から学んだことは、何よりも貴重な人生の財産。入試の面接や小論文はもとより、各教科の学力にも直接影響する。みんなに求めたいのは、たとえ中途半端であっても、これまでの活動を通じて「何を得たのか・学んだのか」、これからの「どう生かすのか」を整理して、意義ある財産にする主体的な姿勢。さらに、自分を磨く機会はこれからもゼロではない。夏休みもある。意識一つ変えれば、進路選択の過程でさらなる成長を遂げていくことは十分可能だ。プラス思考で前向きに突き進もう！